

株式会社 ARCE 山 健斗

日本語訳：高齢者の社会的孤立に対する介入：システマティックレビュー

原著：Interventions targeting social isolation in older people: a systematic review

出典：BMC Public Health

(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3170621/pdf/1471-2458-11-647.pdf>)

コロナ禍でも高齢者が社会的に孤立しないような工夫を紹介！

みなさんは「社会的孤立」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？自分の居場所がなくなったり人との交流がなくなったりすると「社会的孤立」が起きてしまいます。特にコロナ禍では、そのような状態に陥った高齢者は少なく無いかと思います。

そこで、今回は高齢者の社会的孤立に対する様々な介入をご紹介します。

本研究は文献検索サイトにて高齢者の社会的孤立の緩和を目的とした介入などの論文を対象として検索し、2009年5月以前に発表された32件の論文を選出しました。その結果を簡単にまとめると、

- ①参加型の介入は80%もの参加者の社会的統合が改善したのに対して、非参加型は44%に留まった。また、社会的活動・精神的・身体的な3つのアウトカムは、グループ介入群では79%の参加者が、マンツーマン介入群では55%の参加者に改善が見られた。
- ②活動的(参加者が顔を合わせて運動を行うもの)な介入の86%、身体的・精神的支援を行う介入で80%の参加者が改善したのに対して、自宅訪問して行う介入は60%、オンライン介入では25%の参加者が改善を認めた。
- ③理論的根拠のある介入の方が、ない介入と比較して28%も改善した参加者の割合に差が生まれた

【コメント（私見）】

高齢者の社会参加支援には、コロナ禍であっても複数人で顔を合わせながら積極的に活動に参加できる支援が望ましい。コロナ対策のためのオンラインによる介入は、高齢者に対しては効果を出しにくいかもしれない。